

2024年7月22日

東急不動産ホールディングス株式会社
アルサーガパートナーズ株式会社

東急不動産ホールディングスが出資する CVC ファンド

アルサーガパートナーズに出資

～デジタル化による CX 向上など事業シナジー創出を目指す～



東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下、東急不動産 HD）は、出資する CVC ファンドを通じ、企業の DX を促進するアルサーガパートナーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 /CEO・CTO：小俣 泰明、以下、アルサーガパートナーズ）に出資いたしましたのでお知らせします。

東急不動産 HD は全社方針の一つとして「DX」を掲げており、DX を活用した様々な取り組みを進めています。一方、アルサーガパートナーズは、創業以来渋谷を拠点に事業を展開し、「日本の DX を世界で誇れる産業へ」をビジョンに掲げ、DX コンサルティング・開発パートナーとして DX 社会におけるあらゆる課題解決に取り組んできました。今回の出資を機に、アルサーガパートナーズがこれまで培ってきた不動産 DX の知見やデジタル技術と、東急不動産 HD のグループで蓄積した知的資産の融合を図り、デジタル化による顧客体験価値向上などを目的とした事業シナジー創出を目指してまいります。

両社及び日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモと連携し、2023 年 12 月に東急不動産所有区画である「Shibuya Sakura Stage」（東京都渋谷区、以下「渋谷サクラステージ」）※1 に世界初となるまちづくりへの IOWN サービスの第一弾として、APN IOWN1.0※2 を導入し、現在は、IOWN を活用したシステム開発などを進めています。アルサーガパートナーズは、2024 年 2 月より渋谷サクラステージ内に拠点を移して開発を加速しておりましたが、さらに両社での取り組みの幅を広げてまいります。

※1 渋谷最大級のスケールとインパクトを誇る“次世代型ランドマーク”「Shibuya Sakura Stage」2023 年 11 月 30 日よりまちが始動：
<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2023/001115.html>

※2 APN IOWN1.0 とは、NTT 東日本と NTT 西日本が 2023 年 3 月に提供を開始した、通信ネットワークの全区間で光波長を専有するオールフォトンクス・ネットワーク（All-Photonics Network）サービス。

■アルサーガパートナーズ株式会社について

アルサーガパートナーズは、成長し続ける流行の発信地“渋谷”に拠点を置く総合ファームです。「日本のDXを世界で誇れる産業へ」をビジョンに掲げ、DXサービスをワンストップで提供するため、コンサルティングからシステム開発、保守・運用までの体制を整えています。「最高品質を最速で」をスローガンに掲げ、お客さまに寄り添いながらビジネスの成功をより確実なものへと導きます。

本社 : 東京都渋谷区桜丘町1番1号 渋谷サクラステージ SHIBUYA タワー18階
設立日 : 2016年1月
資本金 : 14億3,470万円（資本準備金等を含む）
従業員数 : 465名（SES含む、2024年6月末時点）
事業内容 : ワンストップDXサービス事業
Web : <https://www.arsaga.jp>